

授業概要

乳幼児期から老年期までの生涯発達について学ぶ。家族や家庭を理解し、子育て問題のもっとも身近な存在である保育現場の社会的役割と機能を知る。保護者や地域住民に対する支援の意義や在り方、取り組みについて学ぶ。事例検討やロールプレイ、グループワークを通して、子育て支援の具体的な方法について指導する。

授業計画

第1回	乳幼児期の発達
第2回	学童期から青年期の発達
第3回	成人期から老年期の発達
第4回	家族・家庭の意義と機能, 親子関係・家族関係の理解
第5回	現代の子育てをめぐる問題
第6回	子育て悩みインタビュー
第7回	仕事と子育て
第8回	父親の子育て
第9回	子育て経験と親としての育ち
第10回	ロールプレイの準備と発表
第11回	多様な家庭の理解
第12回	子どものこころの健康にかかわる問題と家庭への支援
第13回	虐待の現状と取り組み
第14回	地域の子育て支援を知る
第15回	地域の子育て支援を考える
第16回	筆記試験の実施

到達目標

1. 生涯発達と初期経験の重要性について理解する
2. 家庭や家族の意義、機能を理解し、子どもと家族を包括的に捉えられるようにする
3. 子育て家庭をめぐる社会状況の課題を理解する
4. 子どもの精神保健とその課題を理解する

履修上の注意

保育士資格取得希望者の必修科目である

予習・復習

予習：レポートを課す場合がある。

復習：授業で扱った内容を振り返り、復習問題を解くこと。また、身の回りの子どもの生活や社会的な出来事に目を向けること。

評価方法

期末試験（60%）、授業態度・参加意欲（40%）をもとに総合的に評価する。

テキスト

授業時にレジユメを配布する。